

## 歯科医学概論

責任者・コーディネーター	歯学部教務委員長 武本 真治 教授			
担当講座（分野）	日程表の担当教員（講座 分野）欄に別に示す。			
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期 16.0時間	後期 24.0時間 58.0時間

### 学修方針（講義概要等）

岩手医科大学歯学部カリキュラムマップでは、知識・態度・技能領域に加え、プロフェッショナルリズム・リテラシー獲得のための総合領域という科目分類を設けている。当コースは第1学年の初期から医療従事者としてのプロフェッショナルリズムを意識させることを目的としている。そのために、経験豊富な歯科医師、歯科医師以外の保健医療従事者、さらには医療を受ける側からの視点による講義を通年にわたり展開する。これらにより、専門分野を本格的に学ぶ前の歯科医師になることへのモチベーションの維持向上を図り、さらにここで学ぶ複合的な知識を歯科学生としての自らの成長に活用するためのリテラシー取得につなげることをも目的とする。

### 教育成果（アウトカム）

歯科医学は医学の1領域である。それ故、歯科医療を行う者は口腔領域に特化した歯科医学と同時に医学全般に普遍的な知識、技能、倫理観を有することが求められる。それらを育成するためには問題抽出・解決能力に裏打ちされた自己開発能力が必要となる。さらに、歯科医師として社会貢献するためには、現在歯科医師に求められている社会的要請を理解し、その要請に応えるための生涯学習、多職種連携をはじめとする基本的態度を身につけることが必須である。このため、初年度に歯科医学を構成する種々の概念を各専門分野の観点から多角的に学ぶことにより、歯科医学・医療の本質的理解への到達に必要な学修プロセスを理解できるようになる。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、5、8、9）

### 到達目標（SBOs）

1. 歯科医師としてのプロフェッショナルリズムを追究する。
2. 全人的医療を概説できる。
3. 研究と臨床のつながりを理解する。
4. 大学附属施設、個人歯科診療所、行政等による歯科保健・医療の提供方法を概説できる。
5. 地域包括ケアシステム、チーム医療における歯科医師の役割を理解する。
6. 健康の維持・増進に対する歯科医師の役割を列挙できる。
7. 医療関連感染対策、災害時歯科医療の重要性を概説できる。
8. 高齢者、障害者の口腔保健管理の意義を概説できる。
9. 超高齢者社会における歯科医師の役割を概説できる。
10. 人生の終末期における歯科医療の関わりを概説できる。
11. 医療情報の取扱いにおける重要事項を列挙できる。
12. 歯科医師が全身管理を学ぶことの重要性を説明できる。
13. ストレスマネジメントができる。
14. 基本的な救急蘇生法を実施できる。
15. 歯科医師の生涯学習の必要性を説明できる。

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

講義前に、講義/演習日程表の事前事後学修の欄に記されている「事前学修課題」について各自学習してくる。特に指定のない場合、到達目標に関連する事項について各自、情報収集してまとめておくこと。事前学修には平均30分を要する。各授業後に講義内容と事前に学修した内容とを比較検討したうえで自らの考えをレポートにまとめることを事後学修とする。事後学修には平均45分を要する。レポートは本WebClassを通じて提出すること。以上のことは本科目の全授業（ユニット）に該当する。

(事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する)

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/15 (水)	3	小林琢也 歯学部長	<b>歯学概論</b>  歯科医学が果たす役割と将来プロフェッショナルになるために身につける態度・知識・技能を理解する。	1. 歯科医学の領域と役割を説明できる。 2. 歯科医師の心構えを理解する。 [C-1-1全般、C-2全般、C-6-3全般] 事前学修：岩手医科大学ホームページを参照し、歯学部の教育課程編成・実施方針、学位授与方針、入学者に関する受入方針について調べること。
講義	4/15 (水)	4	武本真治教授 (歯学部教務委員長)	<b>学生中心の教育（シラバスの活用）</b>  シラバスを基にカリキュラムを理解することで能動的学修の技能と態度を身につけることができる。	1. 学生中心の学修方法を概説する。 2. カリキュラムとシラバスの違いを説明できる。 3. シラバスを活用できる。 [LL-01, 03~05, RE-01~06, C-2-1, 3-5] 事前学修：第1学年のシラバス（特に総論部分）を読んでおくこと。
講義	4/24 (金)	3	石崎明教授 (歯学部研究推進委員長)	<b>研究のこころ</b>  生命科学の一分野としての歯科医学における研究の意義を理解すると共に、歯科医師にとって研究を通じて得られる科学的思考力の重要性について理解を深める。	1. 歯科医学における研究とその意義について説明できる。 2. 知識・技術と科学的思考力の関係について説明できる。 3. 歯科医師にとっての研究マインドについて説明できる。 [C-1-1全般、C-2全般、C-6-3全般] 事前学修：日本学術振興会「研究倫理eラーニングコース」のページにある研究倫理教育教材「科学の健全な発展のために -誠実な科学者の心得-」の日本語版をダウンロードして、「SECTION I 責任ある研究活動とは」を読んでおくこと。
講義	5/20 (水)	4	泉澤充教授 (歯科医療センター副センター長)	<b>歯科医療センターの役割</b>  歯科医療センターの診療システムと歯学教育・地域医療における役割を学ぶことで、科目内で行われる早期体験実習に対応できるようになる。	1. 歯科医療センターの診療システムの概略を説明できる。 2. 歯科医療センターの役割の概略を説明できる。 3. 歯科医療センターと地域医療システムとの関わりを説明できる。 [A-1-2)-①~④、A-1-3)-①~⑤、A-3-①~⑥、A-5-1)-①~⑥、A-7-1)-①~⑦]
講義	5/29 (金)	4	小笠原邦昭学長 中島理教授	<b>【全人的医療基礎講義】 学長講義</b>  創立者三田俊次郎が掲げた理想の医療、120年余の本学の歩み、そして6年間の学びのための心構えについて学ぶ。	1. 建学の精神を理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的に形成することができる。 [PR-01, 02, 04, 05, GE-01-05] 事前学修：シラバスに記載されている学則第1条第1項を読み、「誠の人間」について自分なりの考えをまとめておく。

講義	6/9 (火)	4	岸光男客員教授	<b>みんなの健康を考える</b>  WHOの健康の定義を端緒として、健康観を起点に公衆衛生に寄与する歯科医師の役割を考えられる。	1. WHOの健康の定義を述べるができる。 2. ヘルスプロモーションにおける健康を説明できる。 3. 公衆衛生の意義を概説できる。 <b>[C-4-1、C-4-3-1、C-5-1~3]</b> 事前学修：WHOの健康の定義の原文を調べておくこと。
講義	6/16 (火)	3	櫻井滋非常勤講師	<b>歯科医療と医療関連感染</b> (災害医療を含む)	1. 医療関連感染を概説できる。 2. 医療関連感染対策を列挙できる。 3. 歯科医師の職業性感染リスクを列挙できる。 4. 災害医療について理解する。 5. 災害医療における歯科医療の意義について理解する。 <b>[C-3-1-1~4、C-3-3-1~3、C-4-3-7, 8]</b> 事前学修：インターネット等で東日本大震災、新型コロナウイルス感染症について学修しておくこと。
講義	7/14 (火)	3	大黒英貴非常勤講師	<b>地域包括ケアシステムと地域歯科医師会</b>  地域包括ケアシステムにおける歯科医師および地域歯科医師会の果たす役割を学ぶことで地域歯科医療の仕組みと意義を理解することができる。	1. 介護保険法の主な規定を列挙できる。 2. 地域包括ケアシステムを概説できる。 3. 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割を列挙できる。 4. 地域包括ケアシステムへの地域歯科医師会の関与を概説できる。 <b>[OP-01~04、C-1-3-1~4、C-4-3-6]</b> 事前学修：インターネット等で岩手県歯科医師会について調べ、地域歯科医師会の役割を学習しておくこと。
講義	9/7 (月)	5	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)	<b>超高齢社会の疾病構造</b>  超高齢社会となった我が国の疾病構造の変化と医療が抱える問題を学ぶことで、全身管理や関連医学の重要性を理解することができる。	1. 超高齢社会が抱える諸問題を説明できる。 2. 我が国の疾病構造を説明できる。 3. 歯科医師として身につけなければならない医学知識を説明できる。 <b>[D-2、E-2-3]</b> ディスカッション方式の講義を行うことがある。 事前学修：超高齢社会に関する内容を講義資料および参考書で確認し講義に臨むこと。 事後学修：講義に関する内容をまとめること。

講義	9/25 (金)	4	会田薫子客員教授 中島理教授	<b>【全人的医療基礎講義】</b> <b>長寿時代のエンドオブライフ・ケア</b>  人生の最終段階における医療・ケアの意思決定支援および医療的介入に関する諸問題を学ぶ事で医療従事者に求められる死生観について学ぶ。	1. エンドオブライフの医療的介入の問題点を列挙できる 2. 人生の最終段階を生きる患者とその家族のQOLに配慮するようになる 3. 医療におけるリスクベネフィットを説明できる <b>[GE-05、C-1-3-1, 2, 6、C-1-3-6、C-4-3-1, 4]</b> 事前学修：「エンドオブライフ・ケア」という用語について調べ、自分なりに考察しておく。
講義	9/30 (水)	4	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>看護・介護体験実習について</b>  看護・介護体験実習の意義について実習前に学ぶことで早期体験実習の精神的準備ができて、成果を高めることができる。	1. 看護、介護の実際を知る。 2. 患者さんや介護施設入所者の不安や苦しみを感じる。 3. 医師、歯科医師、看護師によるチーム医療を知る。 4. 高齢者、介護施設入所者に対する医療、社会保障の問題を考える。 <b>[PR-01～06、GE-03～05、LL-05、PS-03、09～10、IT-01～02、CS-01、06～07、CM-01～05、IP-01～04、C-1-3-1～6、D-5-7-1, 7、D-6-2-3～4、E-6-1-1～2]</b> 事前学修：「入院と看護」「高齢者と介護」について、必要なこと、大切なことをまとめること。
講義	10/22 (木)	3	田中良一教授 (放射線医学講座)	<b>医療情報の取り扱いと記録</b>  医療情報についての取り扱いと記録方法を学修することで医療関連情報リテラシーが向上する。それにより高度な個人情報である医療情報を尊重し、適切に取り扱うことができるようになる。	1. 患者の権利を説明できる。歯科医療に必要な患者情報を列挙できる。 2. 医療情報の倫理的取り扱いおよび実践について説明できる。 3. 医療情報のセキュリティについて説明できる。 4. 医療情報を適切に記録することの意義を説明できる。 <b>[PR-01、PR-02、PR-03、GE-01、LL-02、RE-04、PS-09、PS-10、IT-01、IT-02、CS-09、C1-1-1、C1-1-5、C-3-1-2、C-6-3-1、C-6-3-2]</b> 事前学修：「情報リテラシー」で学修した関連資料を復習する。患者の立場になって医療情報の取り扱いに関する疑問をまとめておく。 事後学修：事前学習で得られた疑問点への解答を、講義で得られた知識を基にまとめる。
講義	10/26 (月)	5	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)	<b>歯科医師に必要な医学的知識</b>  歯科治療が必要な患者が有する可能性のある疾患等を学ぶことで歯科治療を行う上で全身状態に注意できるようになる。	1. 主要な医科疾患の症候を説明できる。 2. 主要な身体診察を説明できる。 3. 妊娠時の管理に必要な基礎知識を説明できる。 4. 小児の代表的な疾患を説明できる。 <b>[D-2、E-2-3]</b> 事前学修：歯科と医科の関わり及び連携について学習しておくこと。

講義	11/6 (金)	4	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学 講座 歯科麻酔学分 野)	<b>救急蘇生法</b>  救急蘇生について学ぶ ことでその意義を理解 し、最低限の蘇生処置 ができるようになる。	1. 患者の意識を確認できる。 2. 気道の確保ができる。 3. 口対口の人工呼吸ができる。 4. 体外式心マッサージができる。 5. AEDを操作できる。 <b>[D-1-1-2]</b> 救急蘇生の実習を行う。動きやすい 服装で受講すること。  事前学修：救急蘇生法、特に1次救 命処置について、書籍、インター ネット等であらかじめ調べて実習に 臨むこと。所要時間40分程度を要す る。 事後学習：実習で理解が不十分で あった箇所について、書籍、イン ターネット等を用いて事後学修を行 うこと。所要時間40分程度を要す る。
講義	11/9 (月) or 11/13 (金) or 11/30 (月)	1  4  1	招聘講師  中島理教授	<b>【全人的医療基礎講 義】 薬害を考える</b>  薬害を考える事で、医 療者の責任を学ぶ。	1. 薬害が発生する経緯を理解し、患 者、被害者の視点に立った医療者の 責任を説明できる。 <b>[PR-01、C-3-1-1~4、C-3-2-1~6]</b> 事前学修：薬害について調べ、自分 なりの考えをまとめておく。
講義	11/11 (水)	3	藤澤美穂准教授 (心理学・行動科学 分野)	<b>ストレスマネジメント</b>  ストレスマネジメント 概念の理解を通し、セ ルフコントロールへの 意識を高めることが できる。	1. ストレスコーピングのバリエー ションを理解する 2. ストレスマネジメント教育の一 次予防的意義について説明できる。 3. セルフコントロールの手がかり をつかむことができる。 <b>[PR-05、C-5-2、D-5-9-1]</b> 事前学修：「心理学」の「ストレス の心理学」で学んだ内容を復習す る。
講義	11/25 (水)	4	林 研准教授 (哲学分野)	<b>医の倫理</b>  生命倫理、医の倫理に ついて学ぶことで、歯 科医師にとっての倫理 意識を深めることが できる。	1. 医の倫理に関わる国際規範につい て概説できる。 2. 歯科に関連する倫理のトピックを 説明できる。 3. 医の倫理と宗教の関係について説 明できる。 <b>[C-1-1-1~6、C-1-3-6]</b> 事前学修：事前配布する資料を読ん でおく。

講義	12/4 (金)	4	川田龍平客員教授 中島理教授	<b>【全人的医療基礎講義】</b> <b>薬害を考える</b> <b>ーいのちが守られる社会の実現のためにー</b>  薬害エイズ訴訟原告としての実体験に基づき、「いのちを守る社会」を実現するための医療者の責任を学ぶ。	1. 薬害が発生する経緯を理解し、医療者の責任を説明できる。 <b>[PR-01、C-3-1-1~4、C-3-2-1~6]</b> 事前学修：薬害エイズ事件について調べる。
講義	12/9 (水)	4	坪田まり子非常勤講師	<b>歯科医師に必要とされるコミュニケーション力</b>  コミュニケーションの意義と技法を学ぶことで患者中心の歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解することができる。	1. メラビアン法の法則を理解し、自身自身に活用できる。 2. 患者から見た歯科医師としての自分の印象を想像できる。 3. 相手を不快にさせない話し方の原則を列挙できる。 4. 自分の歯科医師としてのキャリアビジョンを模索できる。 <b>[CM-01~04、C-1-2-3,4]</b> 事前学修：コミュニケーションに関する任意の書物、記事などを読んでおくこと。
講義	12/14 (月) or 12/18 (金)	1  1	招聘講師 中島理教授	<b>【全人的医療基礎講義】</b> <b>薬害を考える</b>  薬害を考える事で、医療者の責任を学ぶ。	1. 薬害が発生する経緯を理解し、患者、被害者の視点に立った医療者の責任を説明できる。 <b>[PR-01、C-3-1-1~4、C-3-2-1~6]</b> 事前学修：薬害について調べ、自分なりの考えをまとめておく。

### 実習日程表（看護・介護体験実習）

実習	10/6 (火) ～ 10/16 (金)		石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>看護体験実習</b> (実習期間中4日間)	看護の現状を知り、歯科医師として看護に必要な態度と知識を身につける。 <b>[PR、GE、CM、IP、SO、C-1全般、C-2全般、C-3全般]</b> 事前学修：実習の手引きを熟読し実習内容、疑問点を整理しておくこと。所要時間45分程度。 事後学修：実習後課題に取り組み、実習内容を再確認しておくこと。所要時間45分程度。
実習	10/6 (火) ～ 10/16 (金)		石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	<b>介護体験実習</b> (実習期間中2日間)	介護の現状を知り、介護に必要な態度と知識を身につける。 <b>[PR、GE、CM、IP、SO、C-1全般、C-2全般、C-3全般、D-5-7]</b> 事前学修：実習の手引きを熟読し実習内容、疑問点を整理しておくこと。所要時間45分程度。 事後学修：実習後課題に取り組み、実習内容を再確認しておくこと。所要時間45分程度。

実習	11/20 (金)	2 3 4	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	<b>看護・介護体験実習発表会</b>	看護・介護体験実習を通して学んだことをまとめ、今後の勉学にどのようにつなげるかを発表出来る。 <b>[PR、GE、CM、IP、SO、C-1全般、C-2全般、C-3全般、D-5-7]</b> 事前学修：実習内容を振り返り発表内容を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：発表会の内容を振り返り、実習内容を再確認しておくこと。所要時間45分程度。
----	--------------	-------------	---------------------------------	---------------------	---

### 実習日程表 (病院案内実習)

実習	9/5 (土)	1 2	浅野明子准教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	<b>病院案内実習</b> (実習日の内1日)	歯科医療センターの各診療科の役割を理解し、他職種連携を学び、プロフェッショナリズムを身につける。 <b>[PR、GE-05、CM]</b> 事前学修：実習の手引きを熟読し実習内容、疑問点を整理しておくこと。所要時間45分程度。 事後学修：実習内容を振り返り再確認しておくこと。所要時間45分程度。
	10/3 (土)				
	11/7 (土)				
	12/5 (土)				

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	デンタル・エシックスー歯科の倫理問題（全講義）	ジェームス・T. ルール, ロバート・M. ヴィーチ 著, 柳沢 有吾 翻訳	クインテッセンス出版	2001
参	口腔の病気と全身の健康（全講義）	田中健蔵、北村憲司 監修	福岡歯科大学	2011
参	病院情報システムの利用者心得解説書（10月23日講義）	日本医療情報学会・医療情報技師育成部会 編	南江堂	2014
参	長寿時代の医療・ケア—エンドオブライフの論理と倫理—（9月26日講義）	会田薫子	筑摩書房	2019
参	延命医療と臨床現場—人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学—（9月26日講義）	会田薫子	東京大学出版会	2011
参	ACPの考え方と実践—エンドオブライフ・ケアの臨床倫理—（9月26日講義）	会田薫子	東京大学出版会	2024
参	龍平：生き抜く勇気を—いのちを守る世界をつくるために—（12月5日講義）	川田龍平	高文研	2022
参	医療格差（12月5日講義）	川田龍平	角川書店	2011
推	なぜこの国は被害者を守らないのか（12月5日講義）	川田龍平	PHP	2013
推	沈みゆく大国アメリカ〈逃げ切れ!日本の医療〉（12月5日講義）	堤未果	集英社	2015
推	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか？（12月5日講義）	佐治晴夫×堤未果	清流出版	2012

## 成績評価方法・基準・配点割合等

講義：講義（ユニット）毎に提出するレポートより評価する。レポートを採点し、全講義の平均点を講義の評価点とする。届出のない欠席、レポートの不提出はゼロ点として平均を算出する。レポートは採点後にコメントを付して返却する。

看護・介護体験実習：実習態度と発表会プレゼンテーションにより評価する。

1. 実習態度：施設からの評価シートにより得点化する。本実習評価の60%を占める。
2. 発表会プレゼンテーション：プレゼンテーションを複数の教員が採点し、その平均点を評価点とする。本実習評価の40%を占める。

病院案内実習：実習態度とレポートにより評価する。

1. 実習態度：担当する教員の評価シートにより得点化する。本実習評価の60%を占める。
2. レポート：提出されたレポートを採点し、評価点とする。レポートの不提出はゼロ点とする。本実習評価の40%を占める。

本科目の評価は、以下の通りとする。

1. 講義、看護・介護体験実習、病院案内実習のいずれもが合格点に達すること。
2. 最終評価点は講義50%、看護体験実習40%、病院案内実習10%として算出する。

到達目標	DP	レポート	発表	その他	合計
1,2,7-15	1,2,9	45			45
3	8	5			5
4,5,6	2,3,5	10	10	30	50
合計		60	10	30	100

## 特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

レポート提出は原則としてWebClassを使用するので使用法を確認しておくこと。  
それ以外の場合は各ユニット責任者の指示に従うこと。  
事前学習結果の確認のため講義・演習中に適宜口頭で質問するので回答の準備をしておくこと。  
得られた回答に関しては教員がその場でコメントしてフィードバックする。

### 【全人的医療基礎講義について】

学修方針（講義概要等）：

全人的医療とは、病のみを対象とした医療ではなく、患者の人格を中心にして身体、精神、心理、社会など諸側面から総合的、包括的に適切な医療を実践することを意味する。本学は、建学の精神のもと豊かな人間性を育み、医学・歯学・薬学・看護学を密接に連携させて理解を深めることによって一層の全人的医療を実践できる医療人の育成を促進している。そこで、本講義では、専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学・看護学を志す学生に共通して求められる他分野への連携理解を深められるように医・歯・薬・看護学部  
の学生が合同で多方面の分野について学修する。また、誠の医療人を目指す学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、各専門領域をより広い視野で多角的に理解するための柔軟な思考力、深い洞察力を育む。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。なお、本講義は「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学（岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、岩手保健医療大学、一関工業高等専門学校、放送大学）の希望者に講義を配信し、県内学生に対する教養教育・社会教育の一助とする。

教育成果（アウトカム）：

全人的医療の基礎を学ぶことで、その必要性、重要性の理解を深めることができる。また、医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性を理解でき、他者の話を傾聴し、自分の考えを整理し論理的に表現することができる。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）（様々な領域の専門家による講義により多様な価値観や広い視野に立った物の見方や考え方を学ぶ）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき器械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的